


LINKRELAYシリーズの特長

 のマークは富士通製品ならではの機能です。

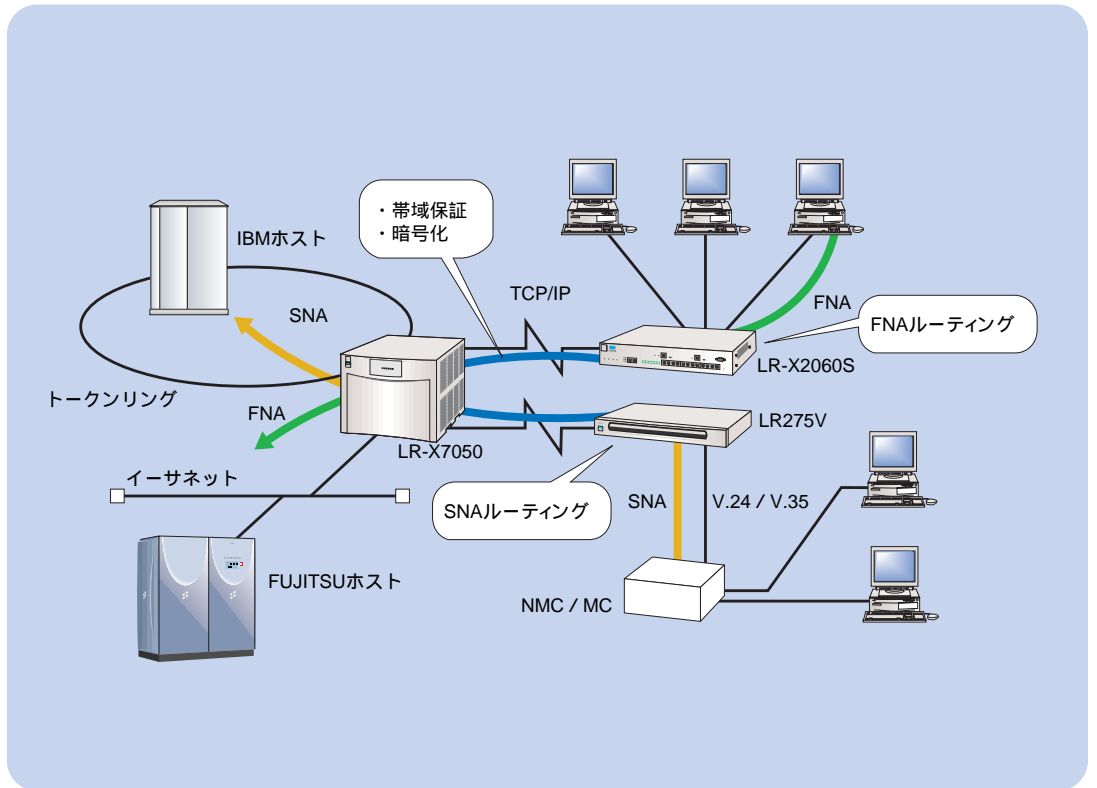
1. 業務システムの運用性向上

対応機種： FNA / SNA、帯域保証：LR-X7050、LR-X6030、LR-X3050、LR-X2000シリーズ
暗号化：LR-X7050、LR-X6030、LR-X2000シリーズ

基幹業務とインターネット / イン트라ネットが共存するシステムでは、イメージや動画などの大容量データの発生により基幹業務の運用に支障をきたす恐れもあります。

FNA / SNAルーティング機能を使用すると、LINKRELAYシリーズの代理応答機能により、ホストの応答監視タイマー切れによるシステムダウンを防止します。

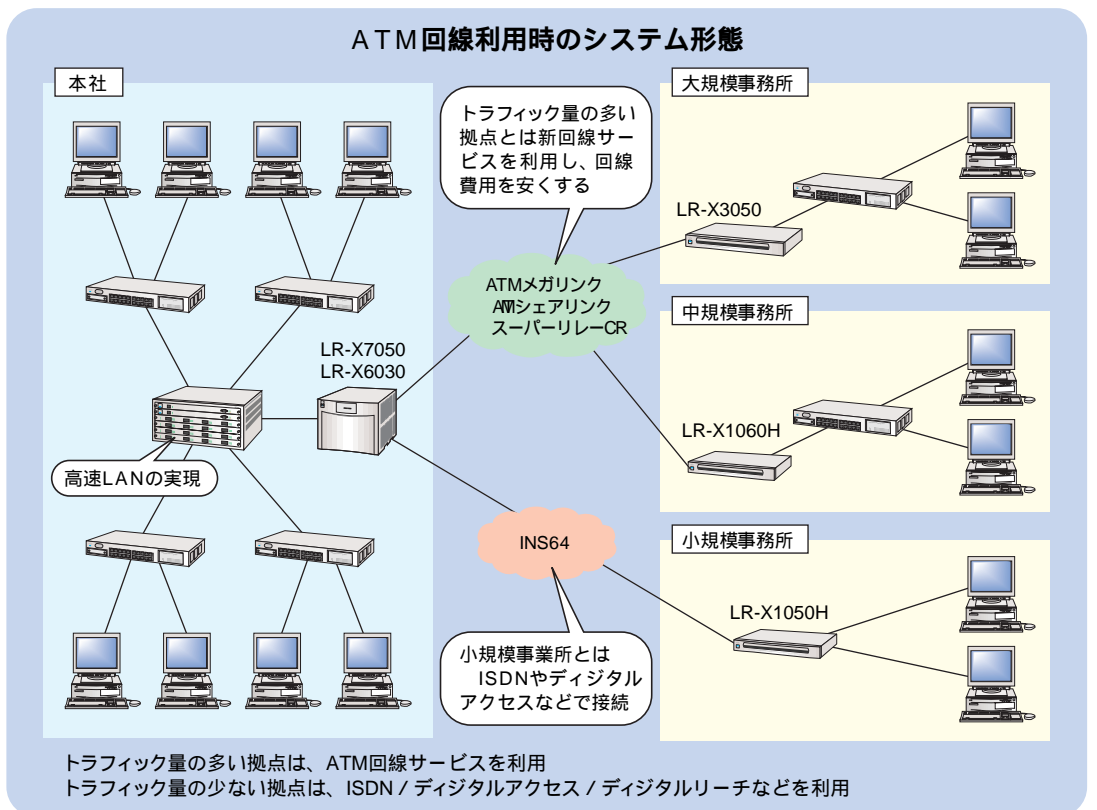
また、LR-Xシリーズでは業務の確実な通信を可能にする帯域制御保証機能や、データの秘匿性を高める暗号化機能をサポートします。



2. 多彩なATMサポート

対応機種 **LR-X7050** **LR-X6030** **LR-X3050** **LR-X1060H**
(スーパーリレーCRはLR-X7050、LR-X6030のみ)

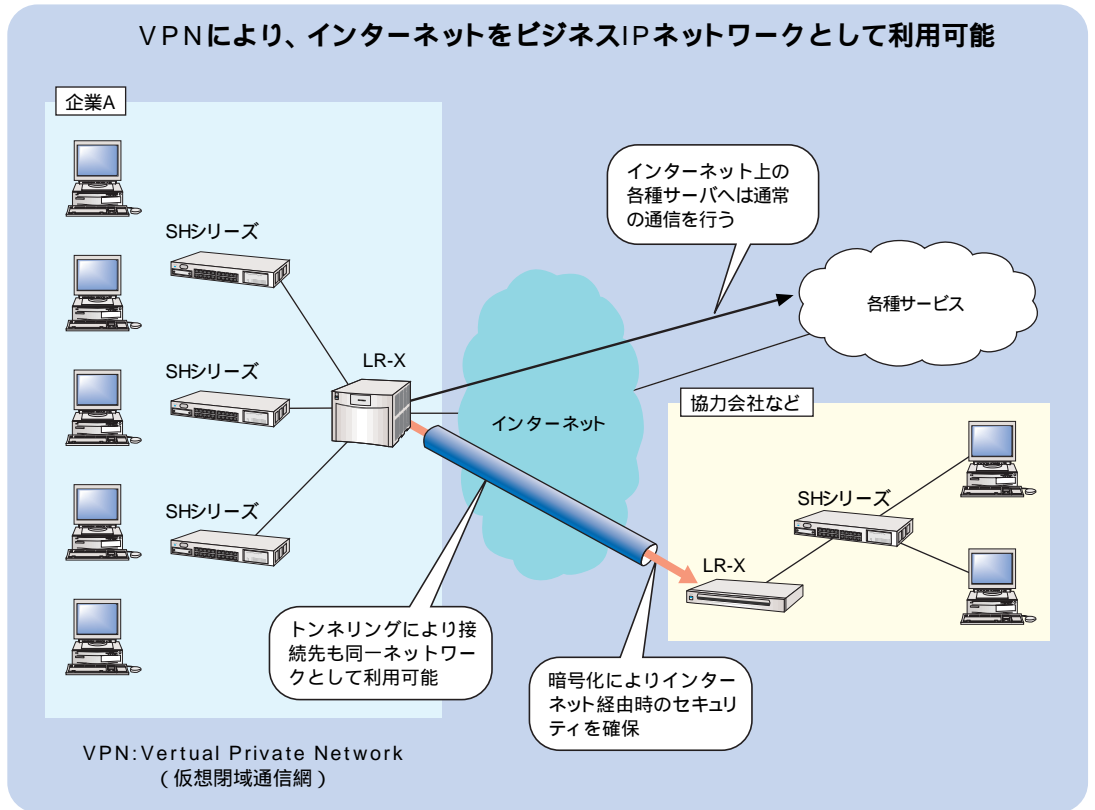
LR-Xシリーズは、高速 / 低価格な各種ATM回線サービスを有効に活用し、コストパフォーマンスの高いネットワーク構築を実現します。特にトラフィックの多い拠点間の中継回線には、従来の専用線サービスよりも安価なATM回線サービスが有効で、回線費用の削減に高い効果を発揮します。LR-Xシリーズは、ATMメガリンク / シェアリンク / スーパーリレーCRの各回線サービスに対応するためのVCシェーピング機能を装備(センタールータはVP / VCの同時シェーピングも可能)していますので、キャリアの提供するサービスを余すことなく活用することができます。



3. VPN機能

対応機種：LR-Xシリーズ(LR-X3050、LR-X1060Hを除く)

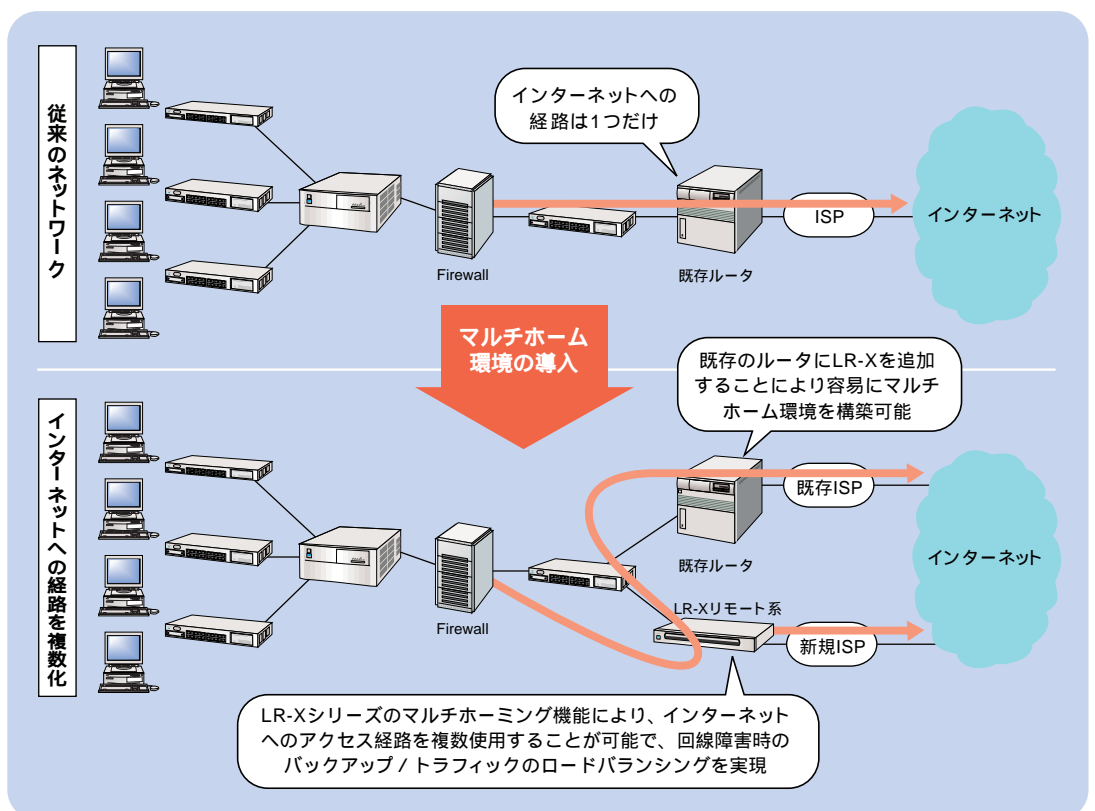
LR-Xシリーズでは、企業内 / 企業間を結ぶネットワークの構築をインターネットを介して行うVPN機能を提供します。LR-Xシリーズは、この実現のため、インターネットを経由しても双方のネットワークを同一のネットワークとして見せることのできるトンネリング機能や、オープンなネットワークを利用する際に必要な通信経路上の暗号化機能などを搭載できます。もちろん、このような場合でも通常のインターネットアクセスは従来通り行えます。VPN機能により、インターネットアクセス回線と企業間の通信を1つの通信経路で行うことができ、トータルでの通信経費を抑えることができるほか、より広い範囲でのネットワーク構築を安全にかつ低コストで行えるようになります。



4. マルチホーミング機能

対応機種 **LR-X2080** **LR-X2080S** **LR-X2050** **LR-X2050H**

通常、企業ネットワークからインターネットへ接続する経路は一つだけです。そのため、回線やISPの障害発生時にインターネットが利用できなくなるといった問題がありました。これは、インターネットビジネスを行う上で、システム全体の信頼性の低下につながってしまいます。この問題を解決するのがLR-Xシリーズの「マルチホーミング機能」です。この機能は、企業ネットワークとインターネット間に複数の経路を持つことができるようになります。マルチホーミング機能により、インターネット回線の二重化が可能となり、耐障害性の向上と、2回線を同時に使用した回線速度の向上などを実現します。これは既存ネットワークのインターネット接続部にLR-Xシリーズのリモートルータを追加する形で実現できます。インターネットを使用するシステム全体に高い信頼性を提供します。





5. 信頼性の確保(ホットスタンバイ機能)

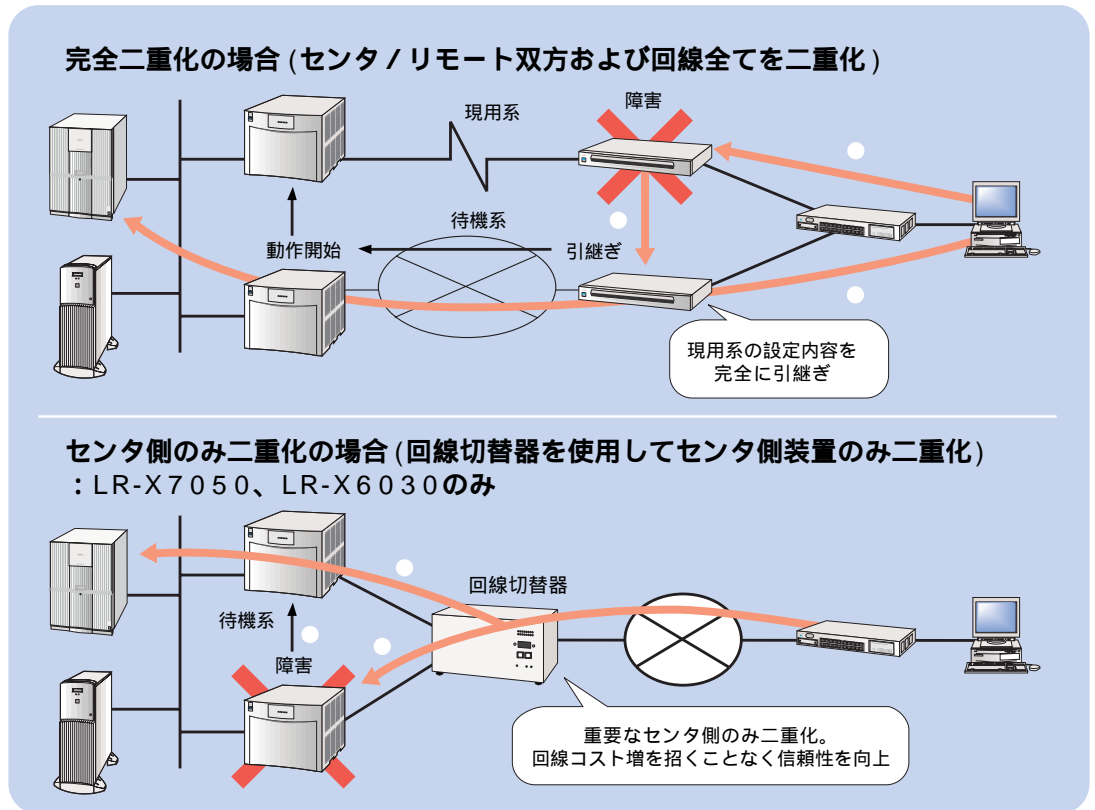
対応機種：LR-Xシリーズ(LR-X1050H、LR-X1060Hを除く)

LR-Xシリーズは、ホットスタンバイ機能により装置 / 回線の完全二重化に対応しますので、基幹業務システムにも安心して利用できます。

ホットスタンバイ機能は、通常時は現用系で通信、障害時は待機系装置にIPアドレス、MACアドレスを引き継ぎ待機系に切り替える順序で行われます。

また、LR-Xシリーズのホットスタンバイ機能は、WANと連携した切り替えや一部回線のみ切替、障害復旧後の手動切り戻しなど、豊富な経験を生かし、ネットワークだけにとどまらないサーバシステムとの連携や国内の回線サービスとの連携までを考えたさまざまな機能を提供します。

さらに、LR-Xシリーズのセンタータでは、1本の回線を二重化したシステムで共用する回線切替器との連携が可能。回線コストの負担増を招くことなく、システムの信頼性を向上させることができます。



6. 回線切替器連携機能

対応機種 LR-X7050 LR-X6030

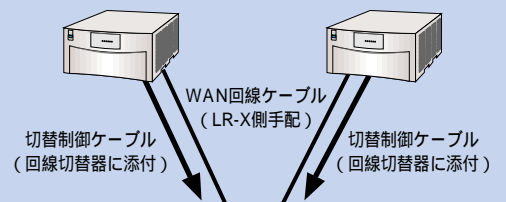


LRXLS1

回線切替器

回線切替器は、LR-Xシリーズセンタータのホットスタンバイ機能を利用する際、二重化された機器間の切替と同時に回線の切替も行うための装置です。この回線切替器により、回線コストを上げることなく、システムの信頼性を向上させることができます。

回線切替器の接続イメージ図



WAN

モジュールは回線種別に応じて搭載。最大8枚まで搭載可能。

諸元

製品名	回線切替器	備考
型名	LRXLS1	
モジュールスロット数	8スロット(最大8回線まで)	回線切替器を複数利用可
サポート回線種別	Iインタフェース基本群 Iインタフェース一次群 V.24、V.35、X.21、ATM25M	
対応機種	LR-X7050 / LR-X6030	
外形寸法(W.D.H)	432×240×215mm	
重量	15Kg以下	
消費電力	6W以下	電源二重化機能標準装備
発熱量	5KJ/h	
騒音	なし(自然空冷)	
添付品	制御ケーブル×2	LR-Xシリーズとの接続用